

政策シート

2025年度	(管理番号)					担当課名
	分野	基本政策		政策		道路企画課
	03	04	01	01	01	

政策
安全で快適に移動できる道路空間の創出

政策の内容

国土強靱化に資する国が施行する道路事業の促進や緊急輸送道路等、災害に強い道路ネットワーク機能を強化します。

市民ニーズを踏まえ、緊急性、必要性を判断しつつ、人・自転車・自動車など、様々な道路利用者が安全で快適に移動できる道路整備を実施するとともに、豊かな生活と地域の経済発展に寄与する道路空間の創出を推進します。

生活満足度に関する指標(個別指標)

指標名	質問文	基準値 2024年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
道路快適性	あなたの暮らしている地域では、自動車、自転車、徒歩などにより、快適な移動ができる道路が整備されていると感じますか。	2.78	2.75				

※総合計画基本計画に係る市民意識調査(アンケート)の結果

現状・課題

新たなみちづくり計画に基づき、道路の整備を実行し、災害に強い道路ネットワーク機能の強化が急務である。国県道整備事業や都市計画道路整備事業等により、災害に強い道路ネットワーク機能を構築するとともに都市の機能性と市民生活の利便性に配慮したコンパクトな拠点をつなぐネットワーク型都市構造の形成が図られるよう道路整備の推進を図る必要がある。

政策コストの状況(千円)	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
予算	7,947,403				
決算	6,938,441				

※「①事業活動(アクティビティ)」の予算・決算の合計

人工	2025年度	2026年度	2027年度	2028年度	2029年度
正規職員	51.0				
会計年度任用職員	4.0				
暫定再任用職員(31時間勤務)	2.8				
暫定再任用職員(26時間勤務)	0.0				

※中央、浜名、天竜土木整備事務所の人工を含む

①事業活動(アクティビティ)

事業名	事業内容	2025年度 予算 (千円)
		2025年度 決算 (千円)
市道整備事業	市民生活が支障なく円滑に行われ、災害に強く、拠点間ネットワークを補完する市道の整備を実施する。 ・ 市道浜北美園線外5路線の道路改良を実施する。	763,908
		881,940
国県道整備事業	災害に強い道路ネットワークの強化や拠点間ネットワークの構築、交通渋滞の緩和に資する国県道の整備を実施する。 ・ 主要地方道浜松環状線、主要地方道天竜浜松線等の道路改良を実施する。	2,594,491
		2,062,281
三遠南信自動車道関連整備事業	高規格幹線道路である三遠南信自動車道を繋ぐ国道152号現道改良区間を整備するものであり、広域道路ネットワークを構築することにより、三遠南信地域の連携強化に寄与する道路の整備を実施する。	2,611,150
		2,151,680
浜松環状線立体交差化事業	主要地方道浜松環状線の4車線化に併せ、道路と鉄道の立体交差事業を実施することで、踏切を除却し、円滑な交通を確保を図るため、鉄道の高架化を実施する。	93,000
		4,554
国直轄道路事業(負担金)	道路法第50条及び交通安全施設等整備事業の推進に係る法律第6条の規定により、政令都市移行に伴い、国直轄事業の事業費負担割合に応じた事業費を市が負担する。 ①国道474号 ・ 青崩峠道路地域連携推進事業 ・ 水窪佐久間道路地域連携推進事業 ②国道1号 ・ 維持管理(防護柵・道路標識・区画線・情報提供機器) ・ 浜松バイパス(長鶴～中田島)地域連携推進事業	1,104,669
		1,082,667
都市計画道路整備事業	鉄道駅へのアクセス性向上など、公共交通の利便性向上に資するとともに歩行者が回遊しやすい道路の整備を行う。 ・ (都)植松伊左地線外6路線8工区において、道路改良を実施する。	626,454
		601,590
道路交通調査事業	道路交通ネットワークの構築に向けた調査検討を実施する。	153,731
		153,731

※予算・決算は各事業に係る経費を計上

②活動(アウトプット)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
市道整備の進捗率(%)	地方創生道整備推進交付金事業に採択された市道6路線の事業費ベースの進捗率	事業進捗の実績を測る指標であるため	目標値	-	7.8	26.8	53.9	84.9	100
			実績値	0.0	7.8				
			達成率	-	100%				
国県道整備の進捗率(%)	補助・交付金で実施する国県道の事業費ベースの進捗率	事業進捗の実績を測る指標であるため	目標値	-	43.2	51.9	60.6	67.0	71.3
			実績値	34.3	40.2				
			達成率	-	93%				
三遠南信自動車道関連整備事業の進捗率(%)	現道改良区間の事業費ベースの進捗率	事業進捗の実績を測る指標であるため	目標値	-	55.2	72.3	81.2	88.0	92.5
			実績値	46.0	53				
			達成率	-	96%				
浜松環状線立体交差化事業の進捗率(%)	浜松環状線立体交差化事業の事業費ベースの進捗率	事業進捗の実績を測る指標であるため	目標値	-	3.1	4.9	7.0	10.0	16.3
			実績値	1.2	1.8				
			達成率	-	58%				
都市計画道路整備事業の進捗率(%)	補助・交付金で実施する都市計画道路の事業費ベースの進捗率	事業進捗の実績を測る指標であるため	目標値	-	80.1	84.3	88.6	90.6	91.3
			実績値	77.3	79.4				
			達成率	-	99%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

③短期成果(アウトカム)指標

指標名	指標の定義	設定理由		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度
環状・放射道路等の整備率(%)	事業中の環状・放射道路等の整備率	環状・放射道路の整備済延長を全体延長(465km)で除したもの(%)	目標値	-	87.0	87.1	88.4	88.6	88.8
			実績値	86.8	87				
			達成率	-	100%				
災害に強い道路ネットワーク等の整備率(%)	災害に強い道路ネットワークに寄与する道路の整備率	緊急輸送道路等の整備済延長を全体延長(454km)で除したもの(%)	目標値	-	95.6	95.6	96.8	96.8	97.2
			実績値	95.4	95.6				
			達成率	-	100%				
都市計画道路の整備率(%)	市街地環状線内側の都市計画道路の整備率 ※市街地環状線は含まない	市街地環状線内側の都市計画道路の整備率(%) ※市街地環状線は含まない	目標値	-	66.6	66.6	67.2	67.2	67.4
			実績値	66.1	66.6				
			達成率	-	100%				

※達成率は該当年度の目標値に対する実績値から算出する。

④長期成果(アウトカム)指標

指標名	基本計画 指標	指標の定義		2024 年度	2025 年度	2026 年度	2027 年度	2028 年度	2029 年度	目標値 2034 年度
環状・放射道路等の整備率		環状・放射道路の整備済延長を全体延長(465km)で除したもの(%)	実績値	87%	87%					91%
			達成率	95%	95%					
災害に強い道路ネットワークの機能を強化した道路の整備率		緊急輸送道路等の整備済延長を全体延長(454km)で除したもの(%)	実績値	95%	96%					98%
			達成率	97%	97%					
都市計画道路の整備率		市街地環状線内側の都市計画道路の整備率(%) ※市街地環状線は含まない	実績値	66%	66%					69%
			達成率	96%	96%					

※達成率は2034年度の目標値に対する実績値から算出する。

⑤目的:10年後(2034年)の理想の姿

- ・幹線道路や主要な生活道路の整備が着実に実施され、経済活動や市民生活が支障なく円滑に行われている。
- ・強靱で安定した道路、橋りょう、河川、上下水道等の社会基盤設備が市民生活を支えている。
- ・都市機能や居住を集約した拠点がそれぞれに「活性化し、市全体のにぎわいにつながっている。

【2025年度の評価】

「①事業活動(アクティビティ)」の実施内容と事業改善(2026年度記載)

事業名	実施内容	事業改善の内容や今後の方向性
市道整備事業	・地方創生道整備推進交付金事業に採択された市道浜北美園線他5路線について、計画通りに事業の進捗が図られた。	・引き続き、計画的かつ着実な事業進捗を図る。
国県道整備事業	・災害に強い道路ネットワークを構築する(主)浜松環状線及び(主)天竜浜松線について、計画通りに進捗が図られた。 ・国県道整備(防衛関連事業)では、拡幅に伴う用地取得の手続きに期間を要し、一部完了に遅れが生じた。	・引き続き、用地取得を円滑に進めると共に、計画的かつ着実な事業進捗を図る。
三遠南信自動車道関連整備事業	・国が施行する青崩峠道路の開通を見据え、開通時における円滑な交通に支障をきたさぬよう、浜松市が施工する現道改良区間(全6工区)について、計画的に進捗が図られた。 ・事業着手後、5年経過したことから、事業再評価を実施し、有識者等に事業継続の妥当性を図り了承を得た。	・引き続き、計画的かつ着実な事業進捗を図る。
浜松環状線立体交差化事業	・新規事業化にあたり、事業評価を実施し、有識者等により新規事業化の妥当性を図り了承を得た。 (※新規事業化に係る国土交通省との調整により、目標値に達していない。)	・新規事業化に向け、国との調整、要望活動を進める。 ・新規事業化の理解・合意を得るため、地域・住民に対し、丁寧な説明を行う。また、遠州鉄道㈱との円滑な協定締結に向け、調整を進める。
国直轄道路事業(負担金)	・国直轄道路(国道474号・国道1号)の道路事業について、国の実施事業に係る負担金を執行することで、事業進捗が図られた。	・引き続き、国の事業進捗について密に調整を実施するとともに、必要な負担額を要求・執行する。
都市計画道路整備事業	・(都)池川冨塚線の事業が完了し、鹿谷郵便局前交差点の東進方向に右折車線を設置したことで、朝夕の渋滞が緩和された。 ・(都)植松伊左地線の令和9年度全線4車線化に向け、計画通りに進捗が図られた。	・引き続き、計画的かつ着実な事業進捗を図る。
道路交通調査事業	・国が概ね5年ごとに実施する全国規模の道路交通調査に合わせて、市管理道路において交通量調査を実施し、調査結果を国へ報告した。	・調査結果より交通量や移動の実態を把握し、道路の計画、建設、管理の基礎資料として活用する。

「②活動(アウトプット)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

「③短期成果(アウトカム)指標」の見直しの要否(2026年度記載)

指標見直しの要否	否

2025年度の政策の評価と2026年度以降の取組の方向性(2026年度記載)

・浜松環状線立体交差化事業について、2025年度は事業費が伸びず目標未達だったが、2026年度より国庫補助事業の新規事業化により事業進捗の加速化が見込まれる。

・引き続き、三遠南信自動車道関連整備事業や(主)浜松環状線など、本市の骨格を形成する主要な道路の早期ストック効果発現に向け、事業を着実に推進する。

・浜松環状線立体化事業以外の指標については概ね目標値を達成出来た。

・引き続き、計画的な事業実施に必要な予算確保に向け、国への要望活動等に努めると共に、地域への丁寧な説明や関係機関と緊密な調整を行い円滑に事業進捗を図る。